

むつ市地域おこし協力隊活動状況報告書

むつ市長 山本 知也 殿

隊員氏名 圓山 遊夢

次のとおり活動したことを報告します。

【活動報告月：2026年6月分】

1. 実施した活動の概要・状況

6月度は市内の川内地区や脇野沢地区の小学校の学習会や、AGAP 学生などにマリンアクティビティなどを通してかわうち・まりん・ビーチでの活動や自然を知ってもらった。また、自分が直接学校に行き地域の小学生とボードゲーム等を通して、交流し学習を行った。月の上旬では、自分の今年度の企画として体験を行おうと考えている MEGASUP を浅虫に行き体験した。実際に体験し楽しさや、安全性、運営方法などを質問し確認した。月の中旬には自分の企画である「お魚料理教室」の子供の部を開催し食育に携わった。月の最後には、私も所属している川内地区の地域団体の Reborn かわうち実行委員会主催で「第1回川内町モルック大会」を開催し、市内外の方と交流を行った。



大湊高校校外学習
地域おこし協力隊活動紹介
【6月10日(水)】



青森県浅虫地区 MEGASUP 体験
【6月1日(月)】

(主な活動)

◇6月20日(土) お魚料理教室子供の部

今回はテーマとして未利用魚を題材としてフィッシュバーガーを作った。参加した子供たちは、普段見たことのある魚もいれば知らない魚も多く持ってきた魚に興味を持っていた。選んだ魚を自分で捌き魚のフライを作り、最後にパンズとお好みの野菜や、チーズ、ソースを使い自分だけのフィッシュバーガーを作ってもらった。午前午後合わせ27名の方が参加してくださり、美味しそうにフィッシュバーガーを食べていた。



調理する魚



魚のさばき方
指導風景



参加者の作った
フィッシュバーガー

◇6月24日(水) むつ市 AGAP プログラム

シンガポール国立大学等の参加者がむつ市海と森ふれあい体験館に来館され、カヤックやSUPといったマリナクティビティや海の磯観察を通してむつ市川内町の海や自然の魅力を伝え、貝殻を使った工作体験を行い、オリジナルの作品を作った。参加した学生たちは、楽しそうに各体験を行っており、貴重な体験ができた大変喜んでいました。



海へ漕ぎ出す準備



カヤックを漕いで
いる学生たち



貝殻工作を行う学生たち

◇6月28日(日) 第1回川内町モルック大会

自分も所属している川内町の地域団体である Reborn かわうち実行委員会主催でモルック大会を開催した。場所は、川内町のむつ市ふれあいスポーツパークで行い地域住民と交流を行うことを目的に開催した。むつ市内外の10を超えるチームが参加してくださり、モルックを楽しんだ。今後も定期的に開催し、参加チームを今後増やしていき、さらなる交流を深めていきたい



モルック旗



モルック試合風景



参加者集合写真

2. 翌月(7月)の活動予定

- 5日(日) まさかりレガッタ練習、シュノーケリング先行体験補助
- 7日(火) FM アジュール出演
- 8日(水) 協力隊月次ミーティング
- 11日(土) お魚料理教室大人の部
- 12日(日) かわうち・まりん・びーちクリーンアップ Day
- 15日(水)、16日(木) 川内小学校体験活動
- 18日(土) 真夏のかさまい夕市
- 19日(日) 小川原湖湖水まつり(レジン工作体験参加)
- 20日(月) 文化会館ひと涼み
- 26日(日) まさかりレガッタ